

年少者日本語教育フォーラム：「鈴鹿モデル」の挑戦

「鈴鹿モデル」は他の地域に応用できるのか」

主催：早稲田大学大学院日本語教育研究科、

後援：文部科学省 / 鈴鹿市教育委員会 / 年少者日本語教育学を考える会

今、注目されている「鈴鹿モデル」をめぐり、国、地方教育委員会、大学が一堂に会し、地域のJSL児童生徒の教育支援システムの現状と課題を考え、「鈴鹿モデル」を検証し、「鈴鹿モデル」を他の地域に応用する可能性について熱く議論を交わすフォーラムです。

日時・会場

- ・ 2010年2月27日 土曜日 午後1時より5時
- ・ 名古屋市 安保ホール 301室 (名古屋駅徒歩2分) <http://www.abohall.com/>

招聘パネリスト

- ・ 文部科学副大臣 中川正春氏
- ・ 文部科学省国際教育課長 中井一浩氏
- ・ 三重県鈴鹿市教育委員会 水井健次教育長
- ・ 美濃加茂市教育委員会 林伍彦教育長
- ・ 群馬県太田市教育委員会 根岸 親氏
- ・ 可児市教育委員会 岩崎千宏氏
- ・ 東京都目黒区教育委員会 高藤 浩氏

プログラム

- ・ 趣旨説明 (13:00~13:10) 早稲田大学大学院日本語教育研究科 教授 川上郁雄
 - 第1部 (13:10~13:40) 「鈴鹿モデル」とは何か**
 - ・ 三重県鈴鹿市の「JSL児童生徒のための教育支援システム：鈴鹿モデル」の紹介
 - 水井健次鈴鹿市教育長の基調講演および早稲田大学制作DVDの紹介
 - 第2部 (13:45~14:45) パネルセッション「鈴鹿モデルは応用可能か」(1)**
 - ・ 招聘パネリストによる議論
 - 第3部 (15:00~15:45) ワークショップ「鈴鹿モデルは応用可能か」(2)**
 - ・ 参加者をグループに分け、協議を行う。
- 早稲田大学大学院日本語教育研究科 教授 宮崎里司
<参加予定者>
齋藤ひろみ氏(東京学芸大)、石井恵理子氏(東京女子大学)、野山広氏(国立国語研究所)
中川智子氏(鈴鹿市教育委員会)、河上加苗氏(目黒区教育委員会)ほか
- 第4部 (15:50~16:45) 総合討論**
 - ・ 招聘パネリストとフロアの全体討論
 - 総括 (16:45~17:00)**
 - ・ 総括と今後の行動計画
 - ・ 終わりの挨拶

無料・事前申込み不要 先着 100名まで入場可能

お問合せ 早稲田大学大学院日本語教育研究科(担当：鈴木) 03-5273-5054

年少者日本語教育フォーラム 「鈴鹿モデル」の挑戦

—「鈴鹿モデル」は他の地域に応用できるのか—

主催：早稲田大学大学院日本語教育研究科

後援：文部科学省

鈴鹿市教育委員会

年少者日本語教育学を考える会

テーマ

地域に根差した「JSL児童生徒の教育支援システム」は可能なのか。
国、地域、学校の取り組むべき課題とは何か。



日時

2010年2月27日 土曜日 午後1時～5時

場所

安保ホール 301室（JR名古屋駅より徒歩2分）
名古屋市中村区名駅3-1-5-9

参加費

無料・事前申し込み不要（先着100名まで入場可能）

プログラム

開会挨拶

早稲田大学大学院日本語教育研究科・教授 川上郁雄 氏

第1部

「鈴鹿モデル」とは何か

基調講演

JSL児童生徒のための教育支援システム「鈴鹿モデル」の挑戦
鈴鹿市教育長 水井健次 氏

第2部

パネル：「鈴鹿モデル」は応用可能か（1）

パネリスト：文部科学省・美濃加茂市教育委員会・太田市教育委員会
可児市教育委員会・日黒区教育委員会

第3部

ワークショップ：「鈴鹿モデル」は応用可能か（2）

専門家および一般参加者とともに、グループ討議

参加予定者：齋藤ひろみ氏（東京学芸大学）・石井恵理子氏（東京女子大学）
野山広氏（国立国語研究所）・宮崎里司氏（早稲田大学）

第4部

総合討論：総括と今後の行動計画

お問い合わせ先

東京都新宿区西早稲田1-7-14 早稲田大学大学院日本語教育研究科
03-5273-5054（担当：鈴木）